

※記入例※

特例入所要件に該当することの申請書(要介護1・2の方)

○要介護1・2の方の特別養護老人ホームのお申込みについて

要介護1・2の方の特別養護老人ホームの入所は、下記欄に挙げられるようなやむを得ない事情により、居宅等において日常生活を営むことが困難と認められる場合に限り認められます。(特例入所)

要介護1・2で台東区の特別養護老人ホームに申し込まれる場合は、ご自身の担当ケアマネジャー等に、下記欄の要件の中から該当する要件全てにチェックを付けた上で具体的な状況をご記入いただき、お申込みください。下記欄に記入がない方については、お申込みを受付けることが出来ません。

特別養護老人ホーム施設長殿

以下の理由により、特別養護老人ホームの入所を希望いたします。

該当する要件に□	居宅において日常生活を営むことが困難である理由(※ご家族以外の方がご記入ください。)
<input type="checkbox"/>	認知症であることにより、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られる。 【具体的な状況】 日常生活自立度(I ・ II a ・ II b ・ III a ・ III b ・ IV ・ M)
<input type="checkbox"/>	知的障害・精神障害等を伴い、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さ等が頻繁に見られる。 【具体的な状況】 障害者手帳等 種 級・度 障害名等:
<input type="checkbox"/>	家族等による深刻な虐待が疑われる等により、心身の安全・安心の確保が困難な状態である。 【具体的な状況】
<input type="checkbox"/>	単身世帯である、同居家族が高齢又は病弱である等により、家族等による支援が期待できない、かつ、地域での介護サービスや生活支援の供給が十分に認められない。 【具体的な状況】
その他	【自由記入欄】

◆要介護1・2の方は、ご自身の担当ケアマネジャー等(いない場合には、ご本人の状況に詳しいご家族以外の方)に、特例入所の要件に該当する状況を記入していただく必要があります。

お申し込みをされる場合には、担当ケアマネジャー等とよくご相談の上お申し込みください。

◆認知症状と、その認知症状がどのように日常生活に影響を与えているか、出来るだけ具体的に記入してください。

(認知症状の例)
意志の伝達ができない、毎日の日課を理解できない、生年月日をいえない、短期記憶の保持ができない、自分の名前がいえない、季節を理解できない、場所を理解できない、徘徊行動がみられる、外出して戻れない等

◆障害名と、その障害がどのように日常生活に影響を与えているか、出来るだけ具体的に記入してください。

◆虐待が疑われることになった事案や地域包括支援センター・区への相談状況などについて、出来るだけ具体的に記入してください。なお、諸事情により状況等の記入が困難な場合は、別紙に記入するなどにより対応してください。

◆家族による支援が期待できない状況と、介護サービスの供給が十分に認められない状況の両方について、出来るだけ具体的に記入してください。

(家族等による支援が期待できない例)
単身世帯である、世帯全員が65歳以上の高齢者のみ世帯である、介護者が病弱である、複数介護である等

(介護サービス等の供給が十分に認められない例)
毎月の区分支給限度額近くまで在宅サービスを利用しているが生活することが困難である、認知症状等の理由により在宅サービスでは対応が困難である等

◆記入は任意になります。上記欄が不足した場合や特に記入したいことがある場合等に記入してください。

※記入例を参考にいただき、該当する全ての箇所に記入してください。記入欄が不足する場合には、理由を記入した別紙等を添付していただいても構いません。なお、上記の内容に不明な点がある場合には、ケアマネジャー等に入所の必要性について確認をさせていただく場合がございます。

記入日	年 月 日	記入者氏名 (ケアマネジャー等)	
事業所名		電話	()